

1年のまとめ, 2学期後半スタート!

1月8日(火)から学校が再開しました。生徒たちは、また元気な笑顔で毎日の生活を送っています。「1月は行く月, 2月は逃げる月, 3月は去る月」などと言われます。残り2か月は時間が経つのが早く感じられます。しかし、生徒が学習や生活に十分に力を発揮して1年のいいまとめができるよう、指導して参りたいと思います。今年もどうぞよろしくお祈りします。



新入試制度について学びました

1月16日(水)に学年集会を開き、新入試制度についての授業を行いました。学年主任より、新入試制度の概要と、調査書点の換算の仕方、そして今後の学習に対する取組の指針について話をしました。

新入試制度のポイントは次のとおりです。

- ①これまでの前期選抜と後期選抜を一本化し、第一次募集として実施します。
- ②第一次募集では、共通選抜と特色選抜の2とおりの選抜方法で可否を判定します。
- ③インフルエンザ等のやむを得ない事由により、本試験を受験できなかった受験生を対象に追試験を実施します。

なお、新入試制度についての説明は、宮城県教育庁高校教育課のHP→オレンジ色のTOPICS「宮城県公立高校新入試制度」→「新入試制度説明」の動画がアップされています。15分程度の説明ですので、ぜひご覧になってください。

調査書点の換算方法ですが、公立高校の共通選抜では、国数社英理の5教科の評定はそのまま、音美保体技家の4教科は2倍されることを説明しました。私立高校でも、3年間の評定平均値が、推薦入試等の基準となることを説明しました。

最後に、学習そのものは、入試のためだけにやるものではなく、豊かな人生の肥やしとするために行うもので、「向き、不向きより、前向きに取り組もう。」と締めくくりました。

生徒たちは、真剣な表情で話を聞いておりました。ご家庭におかれましても、お子様と進路についてご相談いただきますようお願い申し上げます。



今年も大活躍 書きぞめ, 俳句, 進路学習等

1年棟の廊下は、生徒の学習の成果で彩られています。硬筆の書きぞめでは、毛筆も硬筆も力強い作品が目白押しです。中でも2組の齋美玲さんが硬筆で県会長賞を受賞しました。国語科で取り組んだ俳句では、中学生らしい素直な作品が並んでいます。4組の藤本倅寧さんが「マフラーでくやしなみだをかくしてる」という作品で全国の大会で入選しました。全国で100人位しか選ばれない賞だそうです。進路学習で取り組んでいる高校調べでは、各高校毎に調べた内容を模造紙に分かりやすくまとめて掲示しています。ご来校の折には、ぜひご覧になってください。

